



伸びている ―自尊感情の醸成―

◆子供たちの自尊感情は、「**自分は、伸びている**」という実感（自己成長感）と共に高まります。

◆そのため学校は、子供たちに「**継続**」することの尊さを学ばせたいものです。
「**継続は力なり**」ということわざを、実体験を通して理解することができるよう、個々の子供のがんばりを全ての教師が認め、励ますことが重要です。

◆また、教師による「**個人内評価**」、併せて子供の「**自己評価**」を学校全体で重視することも必要です。

◆教師が日々の教育活動を通して、**他者と**
の比較ではなく子供一人一人のもつよい点や可能性などの多様な側面、進歩の様子などを把握し、子供がどれだけ成長したかという視点を大切にしながら個人内評価を行い、その結果を本人に伝えることは、子供たちの自尊感情を高めるとともに、自己評価の視点を育みます。

◆子供たちの**自己評価能力を高めることは、義務教育の重要な責務の一つ**です。**子供たちが複数の物差しをもってポジティブに自己を評価し、次の学びにつなげようとする意欲と態度を培う**ことは、生涯学び続ける基盤づくりでもあります。



トレーニングの成果の差

大リーガー 大谷翔平

やらされていたメニューではなくて、取り組むトレーニングがどういう成果に結びつくのかをちゃんと理解してやるのと、やっていないのでは、成果は大きく違ってくる。

出典：「大谷翔平は、こう考える」（桑原晃弥著 PHP文庫）

※ 子供たちの学習も、同じであると考えます。